

枚方市の談合事件で有罪

# 岡本市長が独断で中司被告を採用

## 「市の最高責任者が市議とともに談合の端緒をつくり、警察官まで引き込んだ刑事責任は軽視できない」

### 中司被告の有罪判決理由（抜粋）



中司被告

## 前枚方市長に有罪判決

### 大阪地裁「談合端緒をつくれた」



大阪地裁は、中司被告が談合の端緒をつくれたと認め、懲役三年六ヶ月に懲らした。中司被告は、談合の端緒をつくれたと認め、懲役三年六ヶ月に懲らした。中司被告は、談合の端緒をつくれたと認め、懲役三年六ヶ月に懲らした。

「非常に残念」 前市長控訴

中司被告は、判決に不服をもち、控訴した。中司被告は、判決に不服をもち、控訴した。中司被告は、判決に不服をもち、控訴した。

岡本市長は、逮捕者まで出した昨年の談合事件の反省と再発防止を徹底すべき責任があります。ところが、反省するどころか、談合で逮捕され有罪判決を受けた前枚方市長を行革会議の座長として採用するという前代未聞の決定をしました。

**この件に関するご意見、お問い合わせは「市民の会」までお寄せください。**

柏原市議会 議員会派 **市民の会**  
(藤森洋一 浜浦佳子)

柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号  
電話 977-5502/FAX.977-8782

このたび岡本市長が市の「戦略会議」に採用を決定した中司被告は、枚方市長だった二〇〇七年七月に、大阪地検特捜部に逮捕され、今年四月に有罪判決を受けた人物です。

同被告は現在控訴中であり、刑が確定したわけではありませんが、市が刑事被告人を採用するのは前代未聞のことです。

判決によると、中司被告は市長だった二〇〇五年十一月入札の工事を大林組に受注させるために元市議（懲役三年六ヶ月）や元警部補（実刑確定）らと談合。その結果、同社が中心となる共同事業体が工事を五十五億六千万円で落札しました。

大阪地裁の樋口裕晃裁判長は「市の最高責任者が市議とともに談合の端緒をつくり、警察官まで引き込んだ刑事責任は軽視できないが、市長を辞職するなど一定の社会的制裁を受けている」として、懲役二年六ヶ月の有罪判決を言い渡しました。

この事件の背景には、別のゼネコンにつながる反市長派の市議の利権を排除する目的があったことも新聞は報道しています。

柏原市でも昨年、水道工事をめぐる談合事件が起き、逮捕者を出しています。談合体質を徹底的に排除しなければならぬ今、談合で逮捕され有罪判決を受けた人物を、市民の税金で職員として採用するなどということがあつてよいものでしょうか。

岡本市長は、この採用を市民にも議会にも知らせず独断でおこないました。この市民無視の暴挙に対して、私たち市民の会は、市民のみならずとも断固抗議します。